



大妻多摩中学校

2020(令和2)年度

入学試験問題(総合思考力型)

①【読解表現(作文)】

②【合科適性】

【出題の意図や狙い、問題の形式等】

【出題構成、特徴的な問題の例示等】



①「読解表現(作文)」問題について

従来までの問題形式は問いが1題のみでしたが、2020年度からは2～3題の問いになる予定です。

また、問題冊子及び解答用紙をA版サイズにする予定です。基本は、「表現力・読解力」を問うものが中心です。

例：問1．問2． →30字から50字程度でまとめる形式のもの。

例：問3． →400字程度でまとめる形式のもの。

サンプル問題を提示しますので、ご参考下さい。



②「合科適性」問題について

1. 従来の「合科型試験」問題と出題の方針や形式はほぼ同じです。ただし、問題冊子及び解答用紙をA版サイズにする予定です。

2. 理社的内容を中心としつつも、理社に限定せず、より幅広い教科融合を意識した出題、つまり日常生活の中での経験や、学校の授業で学んだことに関連するようなものもあります。

例：屋外で活動しているとき、熱中症にならないために、あなたはどのようなことに気をつけますか。いくつか例を挙げて説明しなさい。

(参考：2018年度「合科型試験」問2)

3. 提示した文章やグラフの内容を読み取る形式の問題も予定しています。

例：「会話文」または提示してある資料から読み取れることを説明した文として、正しいもの(または間違っているもの)を選びなさい。

(参考：2019年度「合科型試験」問7(1))

4. 簡単な作図などの要素(「説明する方法など」として)を求める場合も考えられます。

例：提示した表をもとに、折れ線グラフを書きなさい。

5. 当事者意識、他者意識の立場から問題解決をしていく姿勢も大切にしていきたいと思っています。

例：「自分事」として「どう思うか」→ (2019年度「合科型試験」問9)

例：「もし〇〇の立場から」考えると「どのようにする必要がありますか」

以上のような観点すべてからの出題があるとは限りませんが、このような視点を意識しつつ、問題が構成されると認識していただければよいと思います。